

平成26年度第3回南区地域福祉アクションプラン推進委員会 会議概要

- 名 称 第3回新潟市南区地域福祉アクションプラン推進委員会  
日 時 平成26年9月9日（火） 午後2時から午後3時30分  
会 場 白根健康福祉センター3階 多目的ホール  
次 第 1 開 会  
2 健康福祉課長あいさつ  
○ 平成26年度南区「にいがた安心ささえ愛活動支援事業補助金」追加交付決定事業について  
3 分科会の中間報告について  
4 地域座談会の中間報告について  
5 その他  
6 閉 会

事前送付資料

- ・平成26年度第3回新潟市南区地域福祉アクションプラン推進委員会会議次第
- ・資料1 南区地域福祉アクションプラン推進委員会 分科会開催状況
- ・資料2 南区地域福祉活動計画策定進捗状況

当日配付資料

- ・資料1-2 南区地域福祉アクションプラン推進委員会 第2回分科会作業シート
- ・資料3 平成26年度にいがた安心ささえ愛活動支援事業一覧

出席者 推進委員 [19名]

田中清彦委員，塩原信子委員，関根定一委員，田中吉平委員，大野朗子委員，遠藤雪恵委員，宮崎幸一委員，横山勝委員，渡邊喜夫委員，関屋笑美子委員，笠井昭男委員，田辺文明委員，阿部一久委員，渋川博子委員，大竹弘委員，知野美智子委員，坪井和之委員，柳博明委員，中野裕子委員（欠席：尾竹勝衛委員）

アドバイザー 土橋敏孝氏

事務局

【南区健康福祉課】高橋課長，石倉補佐，伊藤主幹，長谷川主幹，袖山主幹，吉田主幹，明間主幹，篠沢係長，清水係長，川崎副主査，小柳副主査

【南区社会福祉協議会】船越事務局長，阿部補佐，池田主査

報 道 なし

傍聴者 2名

午後 2 時 事務局	<p>定刻になりましたので、只今より、平成 26 年度第 3 回新潟市南区地域福祉アクションプラン推進委員会を開催させていただきます。</p> <p>開会に当たりまして、高橋健康福祉課長よりご挨拶いたします。</p>
健康福祉課長	<p>皆さん、こんにちは。健康福祉課の高橋でございます。大変お世話になっております。ありがとうございます。</p> <p>本日はお忙しい中、第 3 回南区地域福祉アクションプラン推進委員会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。前回 7 月 17 日、第 2 回の会議以降、地域計画の策定のために各地区で 2 回の座談会、あと分科会を分野ごとにそれぞれ 2 回開催させていただきまして、委員の皆様にご出席をいただき、大いに議論していただき、意見をたくさん頂くことができました。今日の会議の中ではそれぞれの会議の中間報告が予定されておりますが、その後、いよいよ計画の策定、素案づくりに入っております。今年度は全部で 6 回の推進委員会が予定されておりますが、今ほど言いましたように、座談会を 2 回、分科会を 2 回ということで、委員の皆様には合計で 10 回の会議への出席を今のところお願いしているところでございます。皆様には本当にご苦勞をおかけいたしますが、これからもご協力をよろしくお願い申し上げます。</p> <p>また、今日はささえ愛補助金の追加交付決定事業の報告もさせていただく予定になっております。偶然になりますが、年度当初に採択されました南区ふれ愛やさしく手話講習会が、ちょうど今日からスタートということになっております。様々な団体が色々な取り組みをこの南区の中で進めていくことで、南区の地域福祉、互いに支えあい安心して暮らせるといった地域づくりが進んできていると感じているところでございます。どうぞ、今日もよろしくお願ひいたします。</p>
事務局	<p>なお、本日の委員の出席状況でございますが、小林コミュニティ協議会の尾竹委員からは欠席の連絡をいただいております。あともう一人、まだお見えでないようではありますが、後程いらっしゃるものと思います。</p> <p>続きまして、本日の会議資料の確認を行います。まず、事前に送付したものでございますが、本日の会議次第、資料 1 「南区地域福祉アクションプラン推進委員会分科会開催状況」、資料 2 「南区地域福祉活動計画策定進捗状況」。それから、本日配付したものでございますが、資料 1-2 「南区地域福祉アクションプラン推進委員会第 2 回分科会作業シート」、資料 3 「平成 26 年度にいがた安心ささえ愛活動支援事業一覧」。以上でございますが、資料に過不足はございませんでしょうか。ご確認いただきたいと思います。よろしいでしょうか。</p>

<p>田中委員長</p>	<p>なお、後日会議録を作成いたしますので、本日の会議の内容を録音させていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>また、本日、傍聴の方がおられます。本会議は公開でございますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、以降の会議の進行につきましては、田中委員長からお願いいたします。</p> <p>田中でございます。皆様のご協力をいただきまして、議長の職を務めたいと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>次第には入ってございませんけれども、先程課長からのお話のとおり、にいがた安心ささえ愛活動支援事業補助金について、説明を事務局からお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>南区役所健康福祉課の川崎でございます。よろしくお願いいたします。次第にはないのですが、ここで一つ報告をさせていただきたいと思います。</p> <p>今年度のにいがた安心ささえ愛活動支援事業につきましては、7月に開催いたしました第2回のこの推進委員会におきまして、年度当初に補助金の交付を決定した4事業の内容についてご説明申し上げました。その会議の最後に、新潟市全体としてこの補助金の予算に余裕がありますので、追加の受付が可能であるという旨をお知らせいたしましたところ、新たに三つの団体から補助金の交付申請書の提出がありました。これを受けまして、南区ににいがた安心ささえ愛活動支援事業補助金審査会設置要綱に基づきまして、8月28日に審査会を開催いたしまして、各委員から審査をいただきましたところ、この三つの事業全てが補助金の対象事業として採択されました。これを受けまして、この3件について補助金の交付を9月3日付で決定し、申請者にその旨を通知いたしました。</p> <p>それでは、本日お配りしました資料3、A3判1枚ものの資料でございますが、こちらをご覧いただきたいと思います。平成26年9月現在での南区の分の補助金の活用状況の一覧表になっておりますが、このたび、追加で補助金の交付を決定したものが、下の色がついている部分、3件となっておりますが、この事業の概要を説明いたします。</p> <p>はじめに、ママのやすらぎタイムです。申請団体は白根コミュニティ協議会です。南区地域福祉アクションプランの福祉分野別地域福祉活動計画の基本目標「安心して子育てのできる地域づくり」を推進する取り組みで、子育て中の母親を対象に全3回の仲間づくりのための講座を開催し、子育てによるイライラや孤立感を解消するとともに、地域住民が共に支え合う関係づくりを目指しております。この事業は、昨年度からこの補助金の交付を行ってございまして、</p>

<p>田中委員長</p>	<p>今年度、2年目ということになります。助成額は20万円、費用の主な内訳は講師、保育者の謝礼や消耗品費などとなっております。</p> <p>続きまして、ボランティアサークルデザインジュです。申請団体は事業名と同じくボランティアサークルデザインジュという団体になっています。南区地域福祉アクションプランの福祉分野別地域福祉活動計画の基本目標「ボランティア活動が盛んになる環境づくり」を推進する取り組みで、講師を招いてのさまざまなワークショップを年6回開催することにより、楽しさ、喜び、心の充実を感じることで個人、家族、地域が真の豊かさに気づききっかけづくりを提供するというものです。助成額は20万円、費用の主な内訳は講師の謝礼や消耗品費などとなっております。</p> <p>最後に、臼井地区健康づくり教室です。申請団体は臼井地区コミュニティ協議会です。南区地域福祉アクションプランの地域別地域福祉活動計画にあります臼井地区の推進目標「交流・仲間づくりができる集まる場がある地区」に沿った取り組みで、いろいろな年代の人たちが定期的に集まる居場所を作り、運動や話をするなどで地域の活性化につなげるものです。助成額は20万円、費用の主な内訳は講師、ボランティアの謝礼や会場使用料などとなっております。</p> <p>助成額の合計は、追加分3件で60万円、年度当初の交付決定分と合わせて7件で134万8千円となっております。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>只今の説明について、ご意見、ご質問などございましたら承りたいと思います。いかがでしょうか。</p> <p>ございませんか。今回の交付決定があった3団体の皆さんにも、事業終了後にこの委員会で事業報告を行っていただくことになっておりますので、その際にはより詳しい内容が聞けると思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>続きまして、分科会の中間報告について、事務局からの説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>南区健康福祉課吉田でございます。よろしく願いいたします。</p> <p>前回の推進委員会におきまして、障がい者福祉、高齢者福祉・介護者支援、児童・子育て支援の3分野による分科会の開催についてご説明させていただき、推進委員の皆様いずれかの分科会の委員にご就任くださるようお願いいたしました。また、委員会終了後、各分野にかかわりの深い関係機関の職員などにも分科会の出席を依頼してございます。それぞれの分科会の委員構成は資料1の1枚目の裏面のとおりでございます。</p> <p>1回目の会議では、現在の南区地域福祉アクションプランに記載されている福祉分野別地域福祉活動計画並びに地域福祉計画の「福祉・健康増進体制の充</p>

実」部分の各項目について、昨年度実施しました中間評価の結果を確認するとともに、出席者から現在の状況や課題などを挙げていただきました。また、2回目の会議では、1回目の結果を踏まえ課題等の要因を探るとともに、その解決に向けて必要な取り組み等のご意見を頂きました。

それでは、それぞれの分野ごとに分科会の経過について報告いたします。はじめに、障がい福祉分野でございます。開会日時、出席者、現計画の振り返りにつきましては資料1、分科会開催状況の表のとおりです。また、課題の取り組み、方向性につきましては、今日の配付資料1-2となっております。第1回分科会におきまして、福祉分野別地域福祉活動計画の目標「障がいのある人が地域参加できるまち」を実現するため、詳細項目といたしまして「相談しやすい体制づくり」「障がいのある人と地域の人々との交流」「わかりやすい福祉情報マップづくり」「障がい者団体の交流活動」、地域福祉計画の目標「障がいのある人の自立支援」を実現するための詳細項目といたしまして、「福祉サービス利用の相談支援体制充実」「心の健康づくりとボランティアの育成」「障がい者団体情報の地域発信と地域との交流」「生活課題の早期発見」につきまして、3月に行われました評価に基づき、現状及び課題について意見をいただきました。

なお、福祉分野別地域活動計画「相談しやすい体制づくり」と地域福祉計画「福祉サービス利用の相談支援体制充実」は内容的に同じであるため、一つの項目にしました。この項目では、事業者間の連携づくりと、特に相談事業所の周知不足が要因として上げられ、今後の課題とされました。

福祉分野別地域活動計画「障がいのある人と地域の人々との交流」「障がい者団体の交流活動」、地域福祉計画「障がい者団体情報の地域発信と地域との交流」の3項目につきましては、いずれも障がい者の方から地域社会に積極的に参加する、それに対応した地域社会の理解の必要性や大型商業施設などでの手話通訳・専用トイレ設備の充実、南区の農業・農業用施設を活用しての雇用創出・交流への発展、情報発信につきましては、区バス掲示スペースや区だよりなどの利用、福祉新聞の発行などの意見がありました。この3項目につきましては、今後同じ内容でまとめることができれば、統一した項目として進めていきたいと考えています。

福祉分野別地域活動計画「わかりやすい福祉情報マップづくり」につきましては、福祉団体の個人個人の作業だけでは作成に限界を感じていることが課題要因であります。行政から情報提供してもらいたいという要望がございました。作成を進めている団体からは、作成する範囲を限定し地域の社会資源を見極めながら来年度完成予定で進んでもらいたいというご意見もありました。

地域福祉計画「心の健康づくりとボランティアの育成」につきましては、現計画では精神障がい者についての理解を深め、ボランティアを育成することが

事務局	<p>できましたが、新計画では全ての障がい者に対するボランティア育成、支援という考えで進めていきます。ボランティアの育成は社会的な要因などで困難になっているため、社会福祉協議会の現在行っている事業の見直しなどが必要との意見をいただきました。</p> <p>地域福祉計画「生活課題の早期発見」につきましては、自立支援協議会の中で連携を充実させながら早期発見に努めていくということです。</p> <p>以上で障がい者福祉分科会の報告を終わりますが、今日お配りしました資料1-2の5ページの中で、レストランばるの「ばる」が片仮名になっているのですが、ひらがなの「ばる」ということで、訂正させていただきます。</p> <p>続いて、高齢者福祉・介護者支援分科会について報告いたします。地域福祉係の小柳と申します。資料としましては、引き続き、本日配付しました資料1-2をご覧ください。高齢者の分科会が9ページからになっていますので、こちらから話をさせていただきます。</p> <p>高齢者の分野は現在のアクションプランでは福祉分野別地域活動計画として四つの項目が、地域福祉計画としては六つの項目が掲げられていましたが、現状について話し合いを行った結果、全ての項目について次期の計画でも取り組みの継続が必要として意見がまとまりました。また、現在ある報告のうち、まとめられるものを一つにしようということで、老人クラブの関係のものが二つあったのと認知症の関係のものが二つありましたので、それぞれ一つにまとめて次の計画作成時に記載することとしました。また、現在の計画には載っていないのですけれども、新たに次回の計画のときに考慮する必要があるものとして、高齢者の見守り体制を検討すること、そして南区は公共交通機関の発達が乏しいために自家用車の運転ができなくなった場合に社会参加が難しくなってしまう点が課題に挙げられるということで、新たな課題として二つの項目を追加しようということで話し合いが進みました。結果として、次期の計画、高齢者の分野は項目が10個に分かれたのですけれども、現計画から高齢者の分科会は項目が多く、10個全部を記載すると分かりにくくなるのではないかとということで、内容の似たものということで三つのブロックに分けさせてもらいました。今回はそのブロックごとに簡単に説明させていただきたいと思います。</p> <p>まず、9ページが閉じこもりや孤立の防止ということで、上の方に書いてありますけれども、このブロックの中の小さな目標として、左側の方を見ていただくと、「高齢者の閉じこもりや孤立を防ぐ」といったこと、そして「高齢者の見守り」「公共交通機関が発達していない」という課題、あと、下の方で「老人クラブの活性化」「老人クラブへの参加促進」といったものをこちらのブロックに入れてあります。話し合いの結果、どのような方向性でやっていけると</p>
-----	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

いいかといったことでは、閉じこもり防止や見守りとしては自治会としての体制を作っていかなければいけないと思うのですけれども、見守り対象の方の名簿は個人情報保護の問題もあって行政からはなかなか出せない部分が多いので、自治会の方で隣近所での声かけの方法とか保健会の活動などを含めて、今後、取り組んでいけるといいのではないかといった意見が出ました。

続いて老人クラブの関係では、会員の募集方法の検討が今後必要で、今まではどちらかというと会員の中向けのPRになっていたのですけれども、会員ではない地域の方に向けてもPRしていく必要があるのではないかといった意見がありましたし、交通機関関係では、免許証の返納に併せて高齢者がその後も生活していけるように孤立しないような対策を考えていくことが大切ではないかといった意見がありました。

続いて、11ページをご覧ください。こちらは二つ目のブロックで、地域での交流、支え合いの推進といった内容をまとめさせてもらっています。小さな項目でいいますと、左側に載っていますが、「介護者を支え合う地域」「情報の共有とネットワークづくり」「世代間交流事業の推進」といったものを含めてあります。こちらで出た意見としましては、「介護者を支え合う地域」とありますけれども、どの家庭が介護していてどの方を支えたらいいのかという情報がなかなか分からないといった声が聞かれました。こちらでも個人情報の保護ということがあるので、先程と一緒になかなか名簿が出せない部分があるので、自治会単位でどうやったら支えが必要な方の把握ができるのだろうというところから、ネットワークづくりや見守り体制を作っていけるといいのではないかという声が聞かれました。また、世代間交流事業の関係につきましては、現在、コミ協や公民館とか色々な団体が開催するイベントやお茶の間といったものがあるのですけれども、参加者の偏りがあってなかなか参加者が見られなかったり、子どもばかりたくさん参加するイベントがあったりするので、それらを上手に統合していくと世代間交流としても有効に使えるのではないかといったような声がありました。

続いて13ページをご覧ください。こちらが三つ目のブロックで、健康づくり、介護予防の推進といったブロックに分けさせてもらっています。小さな項目としましては、左側の方、「認知症の理解を深める」「認知症予防と対策」、続いて「高齢者の健康管理と介護予防の推進」「地区保健会活動の推進」といったものを含めております。出た意見としましては、認知症の理解に向けては地域に地域包括支援センターが入って説明の機会を作っていけるといいのではないかという声や、地域包括支援センター自体のPRも必要ではないか、また、家で介護している方でなかなか外に出られない方にも支援していく必要があるといったような声が聞かれました。また、健康づくりのところでは、運動だけではなく食事も含めて大切ということで、保健会はもちろんですけれども、食

事務局	<p>推や運推といった食事や運動の面からサポートしてくださる方も含めて地区に入って活動できるといいのではないかといい声が聞かれました。</p> <p>引き続きまして、児童・子育て支援分科会の報告をさせていただきます。</p> <p>本日お配りしました資料1-2の15ページをお開きください。現在の地域福祉アクションプランに掲載しております目標から、児童・子育て支援分野につきましては、大まかに三つに分けて委員の皆さんからご意見を伺いました。</p> <p>まず、15ページにつきましては、「子育て世帯が孤立しないまちづくり」、また「子育て情報の発信」ということで、情報の周知や活動のPRにかかる部分についてご意見を伺いました。第1回の分科会では、児童会や支援センターにチラシやパンフレットがあっても、子どもに気を取られて見る余裕がないというお母さんからのご意見であるとか、また、サークルなどに入っていないと情報が入りにくいとか、また、インターネットの情報は積極的に見ることができないというご意見がありました。その要因としましては、結局のところロコミが重要になっていて、母親同士のつながりというものが非常に大事であるというご意見がありました。そのための取り組み、方向といたしましては、ロコミでサークル等に入っていたり、また、情報を対象の地区だけではなくてほかの地区の児童館や保育園などでもサークル等の活動紹介があるとよいというご意見や、また、ただ単に冊子やチラシを並べておくだけではなく、職員が利用者に対して直接声をかけるということが必要ではないかというご意見がありました。</p> <p>続いて、16ページをご覧ください。こちらの現計画の目標といたしましては、「ゆとりをもって子育てができるまち」「地域ぐるみで子育て支援」「子育て応援ボランティアの育成と親のニーズ」ということで、地域で子育て世帯を支えるという部分についてご意見を伺いました。現状や課題といたしましては、ファミリーサポートセンターの知名度が低いということや、地域でのイベント等においては保育つきであると参加しやすいということ。また、味方地区などでは老人クラブが小学校と合同で輪投げ大会を行ったり、作品展に保育園児が参加したりしているという状況。また、お年寄りが持っている知識や技術を若いお母さんに伝えたいと思っていच्छやるということ。それから、昨年度から特色ある区づくり事業として行っております「『地域で子育て』を応援」の中で「子育てオーエンジャーみなみ」という子育てボランティアを育成いたしまして、その活動を頑張っているという話がございました。その中で今後進めていくべきものということで、やはり同じ地域や境遇の人が声をかけ合うということが一番良いということ、また、全くのボランティアが主体となって動くのは難しいというような要因がありまして、住民の自主的活動を区が継続して応援してほしいというご意見がありました。</p>
-----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



	<p>続いて、18ページをご覧ください。三つ目のシートといたしまして、「子育て支援」という目標なのですけれども、主に行政が提供している保育園や児童館といった施設等での取り組みについてご意見を伺いました。現状といたしましては、1年未満で復職を希望しているお母さんが多い中で、年度途中での保育園入園が難しいというお話。また、児童館や子育て支援センターなど、こういった施設であるかということが分かりづらいというようなご意見、また、児童館が小中学生と共存しなければならないために気を遣って利用がしにくいというようなご意見もありました。その中で、取り組みの方向性としては、保育園の園開放は決まった日程だけではなくて随時対応していくべきだというご意見や、また、児童館までの交通手段の確保が必要であるというご意見が出ております。</p>
事務局	<p>以上、3分科会の経過報告をいたしました。いずれの分科会も課題解決をするための活動主体、取り組みの方向性、目標の再設定までの詳細な意見交換までは至っていません。これから素案づくりに入っていきますが、各分科会の意見に沿って事務局案を作成していくこととお任せいただくということによろしいでしょうか。</p>
田中委員長	<p>素案は事務局で作っていただくということによろしいですね。</p> <p>只今の説明についてのご意見、ご質問など、また、それぞれの出席された分科会の感想や、当日言い足りなかったことがございましたらご意見を頂戴したいと思いますが、いかがでしょうか。言い足りなかったこと、ございませんでしたか。</p> <p>特に無いようですので、4番目の地域座談会の中間報告についての説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>南区社会福祉協議会の池田です。資料2についてご説明させていただきます。よろしくお願いたします。</p> <p>12地区の地域別の福祉座談会を各地区2回ずつ開催ということで、アクションプラン推進委員の皆様には座談会の案内や運営についてご協力いただきましたことを、まずもって感謝申し上げます。地域別の座談会の日程、1回目、2回目の開催日時、会場、そして参加いただいた住民の方の人数を一覧表にまとめさせていただきました。こちらは平成26年9月1日現在で作成したものでして、昨日、9月8日月曜日に新飯田地区の第2回の座談会が終了しております。空欄になっておりますところはこれから参加人数をご報告させていただきますので、お手数ですが追加記入をよろしくお願いいたします。1番の新飯田地区、昨日9月8日の参加人数は27人でした。続きまして、7番の鷲巻地</p>

区、9月4日木曜日の参加人数は15人でした。続きまして、9番の大通地区の第2回目、9月7日日曜日1時半からの開催は35人で行われました。残すところ第2回目、白根地区が9月16日火曜日の14時から開催予定ですが、ここを残すのみという状況になっております。ここにお集まりのアクションプラン推進委員の皆様ですとかコミ協の役員、そして地区社協の役員、保健会の役員や食生活改善推進委員の皆様、そして自治会長、老人クラブの役員の方、そしてボランティアの方など、非常に多岐にわたる方々にご参加いただき、地域の現状や課題を皆さんで確認したという内容になっております。

1回目と2回目の座談会の内容についてご説明させていただきます。下の方をご覧ください。1回目の座談会では、今日お越しの土橋先生によるミニ講話、こちらは南区健康福祉課の特色ある区づくり事業になりますが、「身近なところで助け合いを ～これからの地域づくり～」と題しまして、土橋先生からミニ講話をいただいております。そして、アクションプランを初めてお聞きになるという方もいらっしゃるので、これまでの経緯をご説明させていただき、ワークショップをその後開催させていただきました。現計画の振り返りということで、各地区で6年前に推進目標を設定したわけですがけれども、その推進目標のために実施した活動、成果、達成の度合い等を確認しまして、次期計画に引き続き継続してこの推進目標を設定していくか否かというところを協議いたしました。

2回目の座談会では、1回目の話し合いの中から新たな課題も出てきておりましたので、そちらの課題出しをさせていただき、それらの整理。そして解決策を探るところでは、現在、各地区でいろいろな住民活動が行われておりますので、その活動の内容を修正していく形で解決ができるのか、また、新たに必要な課題というのが生まれてきているのかというところを皆さんで意見交換していただき、新たな推進目標を設定し、そしてその地区のスローガンを設定させていただいた形になっております。

2回目の座談会で各地区からたくさんご意見をいただきました。それらのご意見をまとめさせていただき、今後、アクションプラン推進委員の皆様、コミ協の役員、そして地区社協の役員の皆様などと各地区で協議を重ねながら、共に地域別の活動計画を仕上げてもらいたいと思っております。

その次のページからは、第1回目の座談会のまとめということで、地域福祉座談会中間報告を地域別でまとめさせていただきました。12地区の1回目の座談会をまとめたものを資料としてご用意させていただきましたので、自分たちの地区だけではなく、ほかの地区がどのようなご意見が出ていたかということをご参考にしていただければと思います。

田中委員長

ありがとうございました。

	<p>只今、各地区の座談会についての説明がございましたが、皆さんの方で質問やご意見がございましたら補足していただきたいと思います。いかがでしょうか。</p>
中野委員	<p>私は茨曾根地域に参加してきました。ほかの地域の方ののを見ると、防災とかそういうものが出されていて、茨曾根地域もそういうことを話し合えばいいのになと思っていたのですが、そういうものは途中で変えられるのですか。</p>
事務局	<p>茨曾根地区の方で災害については検討がなかったということで、もう一度見直すことはできるだろうかというご質問をいただきましたが、こちらについては、推進委員会でそのようなご意見を頂いたということで、これから地域別の活動計画を仕上げる段階で、こういうものが出ましたので検討をお願いしますということで、再度地区の方とご相談させていただき、検討が必要ということであれば修正していただいているところでございます。</p>
田中委員長	<p>ほかにございませんか。</p> <p>それでは、各コミュニティ協議会選出の委員の皆さんからも、それぞれの地区でこれまでに開催した座談会の様子やその感想、また、新たに出てきた課題や作成した目標、計画内容などについて、順にお聞かせいただきたいと思ひます。時間の関係もありますので、お一人3分程度で簡潔にお話しいただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。</p> <p>初めに、新飯田地区の塩原委員、お願ひします。</p>
塩原委員	<p>新飯田地区の塩原です。よろしくお願ひします。</p> <p>新飯田地区では2回開催いたしました、今回、参集者も多く、いろいろな面で相談をいたしました。新飯田地区では防災の方にいろいろな意見が出ておりましたが、併せまして、そういうものを位置づけていく中では、自治会単位、集落別での取り組みがやはり重要ではないかと。そこが声をかけ合って支え合いができていけばいろいろな活動にもつながっていくということで、そのような意見が出されました。保健会の問題にしても自治会単位でうまくいけばそういうことも見直されるし、防災もそうだし、地域のつながり、茶の間も歩いて行ける会へという取り組みが、やはり、自治会で見つめ直すことが大切ではないかということも出されております。</p> <p>あと、地域へのよりどころの場として、空き家を利用した地域の茶の間の皆さんが集まれる場ということも検討がありましたし、学童保育とかセーフティスタッフの要請もしておりますけれども、地域でみんなで見守っていくということも出されておりました。アクションプランの見直しと、新たに計画の中で</p>

<p>田中委員長</p>	<p>地域が少しずつ関心が出ているように感じました。</p> <p>ありがとうございました 続きまして、茨曾根の関根委員、お願いします。</p>
<p>関根委員</p>	<p>茨曾根の関根です。よろしくをお願いします。</p> <p>茨曾根も2回座談会が行われまして、いろいろと意見がたくさん出たのですけれども、先程中野委員が言われたように防災に関しては少し話が出たのですけれども、具体的な、そこまで突っ込んだ話は出ませんでした。これからまたそれを取り入れたりして話し合いをしていきたいと思えます。</p> <p>まずは今までの経過で、「高齢者の楽しい地域づくり」ということなので、いろいろと意見が出たのですけれども、やはりこれは継続するべきだろうという話になりまして、みんなで話し合いをすることになりました。ただ、老人会に関しましても役員のなり手がいないとか、そのような意見が出ておりました。なかなか難しいところもあるのだろうとは思いますが、しっかりと取り組んでいきたいと思えます。</p> <p>それから「こどもたちの安全な地域づくり ～セーフティスタッフの活動に取り組もう～」ということで、まだまだ足りない。今までの目標達成に関しては120パーセントの達成があったのですけれども、実際のところはセーフティスタッフがどこまでしっかりと中に入り込んでいるかということがありまして、これからもっと子どもたちとゆっくり話し合いをしながら進んでいこうということになっております。</p> <p>今までの計画はしっかりとあるのですけれども、全体的に継続のシステムで進んでいくという状態になりました。</p>
<p>田中委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、庄瀬地区の田中委員、お願いします。</p>
<p>田中（吉）委員</p>	<p>庄瀬地区の田中であります。</p> <p>庄瀬地区も座談会が2回行われました。その中でも、やはり防災についての意見がいろいろ出ました。防災訓練は今年で庄瀬地区は8回目です。来月の5日、日曜日に実施します。防災、水害等も含めまして、水害のときに移動しない方がいいとか、それよりもむしろ各々の2階に避難したほうがより安全ではないかという意見が出まして、そういう話に時間を費やしたわけでありまして。</p> <p>あと、子どもの部分に関しては、とにかく今は児童がいない自治会、3自治会あります。年々児童も減っている中で、交通事故等に対してより一層児童の見守りに特化したほうがいいのではないかと。それで今、一つ感心なのは、八</p>

	<p>枚地区から庄瀬小学校まで4キロ近くあるでしょうか、その中で誠意ある人が、用がなければほとんど毎日児童5、6人の後ろを自転車で付いて、学校まで送ると。こういうものが素晴らしいことだなと思って、皆さんも真似してやった方がいいのではないかと思うのは思うのですけれども、なかなか手が回らないというか、皆さんも相当感心しておりました。</p> <p>そういったところで、庄瀬地区は「みんなの居場所づくり」が6部門、「安全で安心な地域づくり」が2項目ありますが、全て話し合った結果、継続というものが大半でした。これらを踏まえて、地区としてはこの項目について、見直しというよりも力をどのように入れていけばいいのかも、これからの大事な話になろうかと思えます。</p>
田中委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>続いて、小林地区の尾竹委員がいらっしゃらないので臼井地区になります。臼井地区の大野委員、お願いします。</p>
大野委員	<p>臼井地区の大野です。</p> <p>今年役員がほとんど替わって、6年前に立てた推進目標に対して活動の成果があったかどうか分かりづらかったのですが、各地区の既存の組織を育てるという目標に対して、色々会議とかをやったり活動を活発にしていって、祭り、狸の婿入りとか写真コンテストとか、中学校と小学校、いろいろ連携して感謝祭など行われているところはとてもいいところだと思いました。そのほかにもあいさつ運動とか新しく行う活動などがあってよかったと思います。</p>
田中委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、大郷地区の遠藤委員、お願いいたします。</p>
遠藤委員	<p>大郷地区の遠藤です。</p> <p>大郷の方も2回目の座談会を終了してまとめに入っているところですが、皆さんの地域に比べてご覧のとおり参加した人数が大変少のうございました。それには声をかける方の問題もあったのですけれども、やはり地域全体の福祉について話し合うというところでは、若い方達に参加いただけるようなご案内の仕方も今後必要なのかなと感じました。</p> <p>座談会の内容では、今まで6年間の振り返りということですが、 「支えあいの関係づくり」では、大変にあいさつが子どもたちも大人も声をかけ合っている、それを続けて行きましようということで、その中から、やはり世代間の交流があったり隣近所の付き合いがあったり、顔の見えるお付き合いが続いていくことで安心・安全の確認ができるのではないかといいところだっ</p>

<p>田中委員長</p>	<p>たと思います。</p> <p>それから「集まる場づくり」についても、既存のイベントですとか、コミ協で計画するイベントなどにどんどん参加していただけるようなPRの仕方を工夫していこうということでした。それから、地域の茶の間も発足されていますし、それがほかの地区でも歩いて行けるようなところでできあがっていけばいいのですけれども、まだそこまで目標を持っていけないような状況です。</p> <p>あまりハードルを高くしないというのが大郷地区の特色でもあるのですが、普通にできることをきちんと確実にやっていきたいと思いますということでした。</p>
<p>宮崎委員</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、鷺巻地区の宮崎委員、お願いいたします。</p> <p>鷺巻地区の宮崎です。よろしく申し上げます。</p> <p>鷺巻地区の活動を振り返りますと、継続することが多くありました。「各集会所を拠点とする茶の間づくり」、現在、新しく2地区が活動中ということで、既存の活動と合わせますと4地区4団体で茶の間を活動中です。新しく立ち上げた2地区の中の一つが作成モデルとして行政、地域包括支援センターにお手伝いいただいて、毎月茶の間を開催しています。非常にいいモデルとして、他地区も参考に活動しようという盛り上がりが出ております。</p> <p>「多世代交流」は大鷺夜祭りとかありまして、大郷地区と共同でやっております、非常にうまくいっている事業もあります。しかしながら、「ボランティアリーダーの育成」が、なかなか育てる仕組みが今のところ確立されていないという問題もありました。</p> <p>あと1点、終了というものがありまして、「老人クラブとの協働」ということで、当地区、老人クラブがなくなりました。ただ、個人的にといいますか、ゲートボールクラブであるとかちょっとしたクラブはあるのですが、なかなかそういう方との連絡がとれていない現状がありまして、今後の課題として挙がりました。</p>
<p>田中委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、根岸地区の横山委員、お願いします。</p>
<p>横山委員</p>	<p>根岸地区でございます。根岸地区も2回座談会を行いまして、スローガンが決まりました。「明るくいいきき 根岸地区」というものです。</p> <p>根岸の目標はお茶の間を拡充していこうということでございます。これについては以前から、先程宮崎委員からもあったように、なかなかリーダーになる人がいないということが一番の課題かと思えます。その辺で、リーダーをどう</p>

	<p>やって決めていくか、そこだけを決めようとするとなかなか決まらない。ですから、2回座談会をやった中で感じたのは、自然発生的にリーダーが決まるような方向付けというか体制づくりが必要なのではないかと思います。例えば、極端なことを言えば、何人かで集まるその全員がリーダーでもいいでしょうし、リーダーなしでもいいのではないかという、今風の時代の流れというか考え方というか、それもまたありなのかなと感じました。</p> <p>それと、8月22日に歌声喫茶というものをやりまして、40名くらい集まったのですが、これはなかなか盛況でございまして、また次回やろうという声も出ております。その辺も踏まえて、自然発生的にそういうものが広がっていけばと思っています。</p> <p>あとは、世代間交流も進めていかなければならない目標の中にあります。この辺につきましても、従来同様カーリング大会とか輪投げとかゲートボール大会を通して、子どもたちとか高齢者が一緒に馴染んで和気あいあいと集まって話ができれば、それが地域の世代間交流につながっていくのかなと思っています。</p>
田中委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>続いて、大通地区の渡邊委員、お願いします。</p>
渡邊委員	<p>大通地区についてご報告いたします。</p> <p>第1回目のときに、ご存じのとおりこの地区もそうではないかと思いますが、今から5年前、6年前に計画ができたときのことを知っている方がほとんどいらっしゃらなくて、自治会から参加された方がほとんどですが、その方がかなり変更しておりまして、このときの経緯を知っている方が本当に数人という状況で、全く知らなかったというのが非常に大きな課題になりました。参加者もどのようなことをしているのかということで、検討のしようがないのではないかという状況が少しありまして、第2回目のときに課題あるいは実際にやったこと、あるいはその成果などをまとめたものを出すことにして、この前、2回目の話し合いを行いました。その中では、やはり、今後も周知徹底、要するに地域全体でこの運動は必要であり盛り上げていかなければならないという認識をみんなが少しずつ持ち始めて、やはりそうだという声が聞かれました。</p> <p>大きく言いますと、2回目の前に、地域住民の方がどのようなことを地域の福祉や見守りなどに望んでいるかをアンケートでコミ協に出しました。これによりますと、元気な高齢者が活躍する場が必要であるとか、これも提案としては具体的なことが書いてあるのですが、子育て支援と高齢者問題を結びつける。例えば、子どもが学校から帰ってきたときに高齢者の家に遊びに行けるようなシステムを作ったらどうかというような、とにかく情報発信が必要なのだとい</p>

	<p>う意見が大きくありました。</p> <p>また、先程から問題になっておりますように、高齢者が災害のときと緊急のときにどの程度手助けが必要なのかが分からないので、そういう調査も必要ではないか、あるいは空き家の調査も必要ではないかということがありました。</p> <p>また、乳幼児の把握とそれに対する応援を、やはり地域一体でやらなければならないのではないかと。含めて、障がい者の方の状況が全く分からないので、そういう調査もやって、どの程度我々が手助けできるのかということも是非やっていかなければならないのではないかとという要望がありました。</p> <p>また、先程の話の中で、いろいろな意味で子どもの見守り、あるいは老人の見守り、あるいは何か災害が起きたときの連絡等、あらゆる意味で大通地区全体のネットワークを作る必要があると。何か知りたいことがあったら事務局に連絡して、そこから区役所にしろ社協にしろ、いろいろなところと連絡がとれるようなシステムを作らないとだめなのではないかという話がありました。それと併せて、今後の問題として、アクションプランをどのように実行しているのか、誰がやっているのか、あるいはどのような状況だったのかという報告が必要だと。そのためには役割分担、あるいはそういう評価もきちんとやれるような組織を作らないとだめなのではないかということで、仮にライフネットワークというようなものを作ったらどうかということがありました。そのようなことで、全体としてやらないとだめだという盛り上がりが出てきたことは大変いいことだろうと思っております。</p> <p>あとは、今までどおりのスローガンでいいというところが2グループ、あとの3グループが少し長いからもう少し縮めようということで、趣旨としてはスローガンがあって初めてその内容が作っていけるということで、相対的には前回の推進目標が継続という方向で、今、進んでおります。</p>
田中委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>続いて白根地区の関屋委員、お願いします。</p>
関屋委員	<p>白根地区の関屋です。</p> <p>ご存じのように、白根地区はまだ2回目の座談会が終わっておりませんので、本当にまとまった意見が言えないのですけれども、とりあえず1回目の会議の様子をお伝えしたいと思います。</p> <p>昨年度までは自治会長を中心に座談会を開いていたのですけれども、今年度は各種団体の方々にも声かけをして集まっていたので、より幅広い意見が出たのではないかと考えております。四つの項目に関しては、すべて継続という形になっております。いろいろと意見が出るのですけれども、最終的に個人情報規制がすごい壁になっておりまして、その辺りを次の座談会辺りでい</p>



<p>田中委員長</p>	<p>い案が出るといういなと思っております。</p> <p>活動の成果としては、私も長い間見てきましたけれども、アクションプランができたことによって茶の間がすごく増えたというのはすごくよかったのではないかと思います。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、味方地区の笠井委員、お願いします。</p>
<p>笠井委員</p>	<p>味方地区の笠井でございます。</p> <p>味方地区といたしまして、最近ようやくこのアクションプランという言葉が浸透してまいりまして、第2回目の座談会でもいろいろと活発に意見が出されたわけでございます。そのような中で、味方地区ではお茶の間が非常に盛んにやられているので、その辺が非常にいいことではないかと思っております。</p> <p>いずれにしても、この地域福祉という言葉の中で、何としてもこの老人会の力、組織が欠かせない問題だろうと位置づけておりまして、今、南区の老人クラブもさることながら、先程の鷺巻地区の話ではないけれども、会長のなり手が無いのでお休みなのだというところが南区でも三つ、四つ出てきておりますので、今年度は南区の老人クラブとして、お休みになった会をもう1回立ち上げてもらおうということで、我々事務局の方で検討しているところでございまして、これから地域の一員として老人クラブの会員を増やして、そして、地域の支えに、地域の力になっていく時代が来るのではないかということで、今、各老人クラブの会員もさることながら、南区として一生懸命検討しておりまして、会員誘導のチラシ、パンフレットをカラーで作りました。今日、それぞれ各会長あてに発送の手続きをしたところでございます。これから会員誘導、それからお休みしたところにもう1回立ち上げてもらおうということ、一生懸命そういう問題に取り組んでいきたいと思っております。味方地区だけではなくて、地域にもっともって役立つこともあるだろうということで、南区全体の老人クラブとして考えているところでございます。</p>
<p>田中委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>最後になりましたが、月潟地区の田辺委員、お願いいたします。</p>
<p>田辺委員</p>	<p>田辺でございます。</p> <p>2回、6月と8月に座談会をしましたが、6年前に決めた目標あるいはスロージャン、そっくり継続ということになりました。</p> <p>お茶の間の関係なのですけれども、なかなか現状のままですとどまっています。新規が立ち上がっていないということから、魅力あるお茶の間づくりがまだ</p>

<p>田中委員長</p>	<p>乏しいのではないかとということでありました。</p> <p>あと、「ボランティア・地区のリーダーを育成しよう」ということではありますが、リーダーの活動が地域にもっと見える方法がないかということもありました。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>只今、各地区の委員の皆様方の感想を含めたご意見を頂戴いたしまして、ありがとうございました。</p> <p>そのほか、各委員の皆さんからの報告をお聞きになられた上で、もっと詳しく聞きたいという事柄がございましたら、どなたでもかまいませんが、発言はございませんか。</p>
<p>中野委員</p>	<p>私も参加していて、皆さんのお声を聞いて思ったことがあって、ほかの地域の活動を知っている方がいらっちゃって、そういう情報を知り得てもっと自分の地域もそういう真似をしようという話が出たのです。自分の地域だけよければいいのではなくて、先程お話があったように、南区全地域が平等に高められるように、私達はこういうことをしている、皆さんはどうですかという話、とても盛り上がったとか、今のように情報交換の冊子とか場があるとか、何か刺激しあうというようなものも必要かなというのは茨曾根のときも話が出たのです。せっかくいいところもあるのに知らなかったので、知ればみんなもそれならできるという気持ちになるので、そういう機関紙というか情報の場があるといいのではないかと思います。</p>
<p>笠井委員</p>	<p>児童・子育て支援分科会の笠井と申します。</p> <p>資料を見ていまして、児童・子育て支援ということになっておりますが、児童がなくて子育て1本の内容になっております。この辺は事務局としていかなものでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>分科会を開催している中で、出席された方からもそのようなご意見をいただきました。今日、お配りした資料の中にも、今現在の目標以外に出た意見ということで、いくつか記載させていただいております。資料1の8ページに、例えば、高校生の通学手段が不便であるとか、小中学生の通学バスのお話であるとか、公園に日陰を作ってほしいというようなご意見があったことは記載のとおりであります。</p> <p>こういった内容につきましては、福祉の計画の中で盛り込むべきことなのか、例えば、公園のことであれば建設関係の計画の中に入れるものなのか、また、通学バスであれば教育委員会の計画に入れるものなのかというところで、アク</p>

	<p>シヨンプランの中に入るものなのかどうかを、事務局で検討させていただきたいと思っております。もし、アクションプランの中に入れていくのが難しいということであれば、それぞれの担当部署といいますか、区役所の中にもその分野を担っている部署がありますので、そちらにこういった意見がアクションプラン推進委員会の中であったのだということで、しっかりとお伝えしてその中で生かしていくことができると考えております。</p>
田中委員長	<p>おっしゃるとおりだと思いますので、これからもまた色々と皆さんのご意見を頂戴したうえで、素案の中に入れていただきたいと思います。</p>
塩原委員	<p>昨日座談会がありまして、そのときにほかの地域では車に安全パトロール中とか、子ども110番とかそういう色々なステッカーを作って子どもたちを地域で見守っていますということを発信している地域がたくさんあるので、新飯田はセーフティスタッフの方の取り組みはありますけれども、そういうステッカーで地域から子どもたちを見守っているというものがなかったので、そのようなものをほかではやっていらっしゃるようだから新飯田もやったらどうかみたいなものもありますから、やはりいい取り組みをしているところはどんどん計画に挙げていただいて、南区全体でかさ上げできるといいなと思います。</p>
中野委員	<p>先程の子育て支援、なぜ児童がないのかという話で、児童が大事とかではなくて、なぜ子育て支援なのかということを中心に深くからお話ししないと、皆さんは多分意味が分からないので、なぜ子育て支援が大事なのかというのを皆さんがしっかり知らないと話が進まないと思うので、そういう勉強会も大事かなと思っています。子育て支援がなぜ抜けているのかという意味が分からないと、その意味はあると思うのです。意味があるからこのように出ていると思うので、そういう勉強会も大事かなと思いました。先程の説明が少し理解できなかったです。</p>
田中委員長	<p>要望としてお聞きしておきたいと思いますが、笠井委員がおっしゃるのと違うのです。一つの子育てという問題があるのに児童の点があまりにも表に出ていないという言い方だと思うのです。</p> <p>ほかにございませんか。</p> <p>色々と要望もあると思いますが、それらを踏まえた上で、本日も出席いただいておりますアドバイザーの土橋先生より、各委員からの報告をお聞きになったの感想や今後の計画取りまとめに向けてのアドバイスなど、一言お話いただければ非常にありがたいと思います。先生、よろしくお願ひします。</p>

<p>土橋アドバイザー</p>	<p>どうもご苦労様です。</p> <p>全地区に参加させていただいたので、色々そのときのことと、今お話をいただいたことと比較しながらお聞きしていました。非常に2回目をやって全体的にまとまってきているなという感じを受けました。1回目のときは継続、継続ということでそのまま引き継いでいってしまうのかなということで心配していたのですけれども、2回目をやることによってさらに深めて、自分達が何をなすべきかということがかなりよく見えてきたのかなというところがお聞きできたので、よかったなと思っています。</p> <p>それで、ご提案なのですけれども、それぞれの地区の取り組みというのは、先程、自治会を中心にしながらやっていかなければいけないという話も出てきましたけれども、きめ細かく、どういう網の目を張っていけば色々な課題の解決や課題が出てきたときへの対処ができるかなというのは、皆さんもお気づきになっていらっしゃる。そのときに要援護者の名簿だとか何とかというものが出てこないというところで、色々悩んでいらっしゃるということが大きくあると思うのです。</p> <p>いずれにしても、それは行政との関係づくりというのも一つはあるような気がするのです。それをかたくなに行政が出さないと言っていけばいいということではないと思うので、安全・安心ということから、被災されること、自然災害とか色々なことが起きてくるわけですから、そのときに誰も知らなかったということでは済まないのだろうと思うので、その辺を皆さんどのお互いに考えながら行政と詰めていくのかということのを是非考えていただきたいと思うのです。</p> <p>それから、せっかく、今、中野委員からも話がありましたけれども、ここで情報交換したということは、区全体の方向性というものをどこかで話し合っていかなければいけないということだと思ふのです。地区の計画づくりということで、この前、話し合ってきたわけですから、それぞれの地区ごとの考え方が出てきているわけけれども、では地区が動いていけばそれでいいのかというところではなくて、南区全体としてはどうなのかということが当然あって、その南区の方針と地区ごとの方針とがどういう形でリンクしていくのかということがないと、地区がいくら頑張っても全体に広まっていけないということになります。また、自分たちの力だけでは動かないということもあるわけですね。前に申し上げたように、子どもの数が増えると言ってもそう簡単に増えるものでもないし、人口が減らないようにしようと言ってもそれはできることでもない。それから社会資源としての色々なものをどう構築していくのかということもお金がなければできないわけですから、そういうことを考えると、区全体としてはどうなのか。そういう要望だとか、区全体の取り組みの構築をどうするかということもこういう場で話し合っていかなければいけないのだろうと思ひ</p>
-----------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>ます。</p> <p>一応、三つの分科会に分けてそれらについて話し合っただけということですが、皆さんの発言の中でもそういうことについて触れられているわけですが、大事なことは、地域の中で一人一人の課題を抱えた人を孤立させないためにはどうすればいいのか。そのためには自分の地域ではどのようなネットワークを張っていけばいいのか、取り組んでいったらいいのかということ等を是非お考えいただきたい。これは高齢者だけの問題ではなくて、障がいを持つ人達もそうですし、子育てをしていらっしゃるお父さん、お母さん方の支援という問題も同じわけですから、それぞれのことに気配りをさせていただいて、自分達の地域の中でどこまで色々なネットワークができていくのか。そのためには情報交換という場が必要なわけですから、情報共有をどうしていくのかということをお聞きしたいわけですから、その方向を是非進めていただければいいかなと思います。</p> <p>先程、分科会の報告の中で買い物支援であるとか移動手段の確保ということが出てきました。地域によっては非常にそれが大事なところもあるわけですから、そのようなことも色々みんなで考えて、どうしたらいいのかを加えていただければいいのではないかと思います。</p> <p>いずれにしても、地域が一生懸命頑張らなければならないというのは分かるのですが、あまり片意地を張ってやろうと言ってもそう簡単に動くものではないから、力を抜いてみんなで楽しくやっていくつもりでお願いできればと思います。前にも言いましたが、日本には専門家が十分に育っていません。そのために、皆さん、地域が頑張らざるを得なくなっている部分がとても大きいのです。本当は専門家を育てて専門家に相談できればもっと違った形での解決が図られるはずなのだけれども、どうしてもそういうところは遅れていますから、みんな地域で頑張ってきたわけです。だからこれからも地域で頑張っていかなければいけないと押しつけられても、皆さんの力が育ってくればいいのですけれども、なかなかそこまで急には行かないわけで、そういうところは力を抜きながら、楽しくやっていくつもりでこれからもやっていただければありがたいと思います。</p> <p>先生、ありがとうございました。</p> <p>只今のお話を聞かれて、委員の皆さんから土橋先生に是非お聞きしたいことがあれば、せっかくの機会でございますので、ございませんか。</p> <p>私は障がい者団体なのですが、私も本当に自分で一生懸命やっています。先程言われたように専門家に相談するというのも、そうなのだなと思っています。しかし、専門家というのはどなたなのか分からないのです。そ</p>
田中委員長	
中野委員	

<p>土橋アドバイザー</p>	<p>ういう資料があるとありがたいです。</p> <p>専門家というのが分からないと、今、お話がありましたけれども、実際はいろいろな資料が出ているのです。ただ、皆さんの手元に来ないだけです。そこは行政が社協とどう連携をしながら情報提供してもらうかということが大事だろうと思います。先程、地域の中の地域包括支援センターを知ろうではないかと、出てきてもらおうじゃないかという話もありましたけれども、それも一つの資源なわけです。色々なところに色々な資源があります。ただ、少ないというのは事実です。そういう人たちとどういにかかわりを持っていくのかということも大事なことなので、そういう人たちの力を借りて地域を活性化させていくということは非常に大事だと思うのです。ただ、例えば、社協にCSW、コミュニティソーシャルワーカーという者を一人ずつ置いていますということなのだけでも、ではそのCSWというのは誰なのか、その人はどういう仕事をしているのか、いつ私達の近くに来てくれるのか。色々な形で疑問はあるだろうと思うのだけれども、そういうことも実際に話をしてもらえれば、あの人がそうでどういう活動をしているのだから、我々のところではこういうところに呼んで話をしてもらおうとか、色々アドバイスをしてもらおうということができらるだろうと思うし、それは行政も情報をたくさん持っているわけですから、そういうところから色々手をつないでいくような形で発信をしていけば、得られることはたくさんあるのだと思うのです。ただ、残念なのが、そういう社会資源というのは中央に集まってしまっているのです。新潟市でいえば新潟市中央区にはたくさんあるのだけれども、南区に来るとそれが非常に少なくなってしまうとか、そこをどう解決していくのかというのがこれからの課題だろうと思います。</p>
<p>渋川委員</p>	<p>私も障がい児、というか障がい者の親ですが、子どもは車椅子なのですが、要援護者の名簿の方には出してあるのです。地域にも分かってもらって、当然その方がありがたいと思っていますので、そういう情報を地域の方、民生委員の方、自治会の方に、私は大郷地区なのですが、是非知っておいていただいて、何かのときにはお手伝いをお願いしたいと思っています。親としてはそのためにそういう情報を出していますので、それを公開してもらっては困るということはありません。よろしくお願ひしたいと思っています。</p>
<p>田中委員長</p>	<p>要望でよろしいですね。</p>
<p>渋川委員</p>	<p>はい。</p>

田中委員長	<p>ほかにございせんか。</p> <p>無いようですので、5のその他に入りたいと思います。事務局から、その他について連絡をお願いしたいと思います。</p>
事務局	<p>それでは、事務局から1点だけ連絡がございますが、その前に、皆様方にはそれぞれの分科会に分かれての、なかなか聞けないようなご意見やご要望をいただきまして、ありがとうございました。それからまた、地区に戻られましたらそれぞれの座談会等に出席いただきまして、また、ご検討いただきましてありがとうございました。先程土橋先生からもあった、まず地区があってそれをまた積み上げていくような素案づくりをこれから進めてまいりたいと思います。</p> <p>それで、次回の推進委員会の日程でございますが、今ほどいただきました中間報告や座談会の結果を基に、今後、事務局での次期素案を作成いたしまして、次回の推進委員会で委員の皆様から内容についてご意見を頂戴したいと考えております。時期としましては、10月下旬頃を予定しております。詳しい日程が決まり次第、資料の事前配付を含め、今回のようにご案内申し上げますので、よろしくをお願いしたいと思います。</p>
田中委員長	<p>只今の説明についてのご意見はございませんか。</p> <p>では、次の第4回になりますか、10月下旬頃ということで、よろしいでしょうか。</p> <p>特に無いようであれば、これで第3回南区地域福祉アクションプラン推進委員会を終了いたします。どうもお疲れ様でした。ありがとうございました。</p>